もっと走る もっと運ぶ もっと稼ぐ
FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE
APRIL 2014 [No.024]
4

［ユーザーレポート］安全の確保とCS向上を目指す
（名鉄バス株式会社）

［経営改善講座］
# 「儲かる経営体質」とは

［特集］税制改正による車体課税見直しのポイントはココ!

All for you

FUSO

もっともっとGood サポート宣言!

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

# 大切なのは、お客様の安全確保とCS向上。

愛知県名古屋市　名鉄バス株式会社

名古屋鉄道の自動車事業から分社化して以来、今年で10周年を迎える名鉄バスは、お客様の安全確保とCS向上を最大の理念として掲げている。愛知県全域を全122路線でカバーする路線バスや、名古屋発着による全22路線の高速バスを運行させ、高い知名度とブランド力を誇る同社が取り組む主な施策を伺った。

名古屋中央営業所

法人名：名鉄バス株式会社
本　社：愛知県名古屋市中村区名駅四丁目26番25号
営業開始日：平成16年10月1日
代表取締役：小池　潤
社員数：1727名
保有車両：706台

代表取締役社長
小池　潤 氏

「大切なのは、全てのスタッフ間での情報共有とコミュニケーション。そのための意見交換を随時行っています」

## 三菱ふそうの技術も採り入れたハード面での安全対策

名古屋鉄道の自動車事業としてスタートした名鉄バス。愛知県のほぼ全域をカバーする路線バスの運行や、名古屋発着の高速バス事業など、80年の長きにわたって事業を展開し、近年では市バスの運行受託など、さらなる事業拡大にも積極的に取り組んでいる。中でも、ここ数年における同社のホスピタリティの向上は、とても顕著だ。

「私たちが、最も大切に考えているのは、お客様の安全の確保とCSの向上です」代表取締役社長 小池潤氏がそう語るように、近年、ハード・ソフトの両面から、徹底した安全対策やCS向上のための施策を採り入れてきた。特にハード面においては、万一の衝突事故の被害を最小限に抑える『衝突被害軽減ブレーキ』や、運転注意力の低下を警報等で知らせる『運転注意力モニター』、前車との適切な車間距離の保持を促す『車間距離警報装置』、夜間走行時の照度を上げる『HID（ディスチャージ）ヘッドライト』など、三菱ふそう車両のテクノロジーが数多く活かされている。また、デジタルタコグラフとドライブレコーダーを一体化させ、全ての乗合バスの車内外に業界初となる各7台のカメラを設置。

さらに一昨年には名鉄バスセンターの乗車券売場を改修。待合室も広くして座席を多く確保し、コンビニエンスストアを併設させるなど、より明るく快適に過ごしやすい待合環境へと生まれ変わった。こうした配慮が実を結び、さらなる評判の獲得へとつながっている。

## 乗務員のモチベーションを高めるソフト面での安全・CS向上

ソフト面では、教育の時間やカリキュラムを大きく見直した。

入社時の研修はもちろん、契約社員から正社員になる際、一年次のフォロー研修、同様に三年次、五年次、八年次と、研修を行うよう徹底。さらに社内での講習として、中堅職の意見交換会、班長会議や班集会など、皆が意見を出し合うことのできる場を数多く設けることで、情報の共有や社内コミュニケーションの活発化を図っている。

「教育、研修というとワンウェイになりがちですが、

シートの枕は、一人ひとりの好みによって位置を調整できる可動式。

お客さまが乗り降りしやすいように、肘掛けは可動跳ね上げ式。

お客様からお褒めをいただいた乗務員に渡される、ベストCSメンバーカード。社長直筆のメッセージが添えられる。

足元に凹みを設けることで、最前席にもゆとりをもたせている。

高速バスの待合環境を改善するため、より明るく快適に改修された「名鉄バスセンター」。

お互いに意見を活発にかわす、いわゆるツーウェイコミュニケーションが大事です」社長自らのこうした柔軟な発想が、働きやすい環境を築き上げている。

乗務員のモチベーションを上げる施策も充実している。お客様からお褒めの言葉をいただいた乗務員には、社長自らがメッセージをしたため、『ベストCSメンバーカード』を贈呈。そのカードの枚数が年間で多かった乗務員は、『ベストCSメンバーカード賞』が贈られる。そのほか、デジタルタコグラフの数値によって優秀なドライバーは『ベストドライバー賞』として表彰される。

こうした施策の対象は、乗務員個人だけに留まらない。

「年に2回、私から乗務員の家族宛に飲酒運転撲滅のための手紙を出すことにしています。これは効果があるようです。いざという時の家族の注意喚起が、飲酒運転を未然に防いでくれているんですね」

## シートの快適さを追求した新型高速バス車両

昨年導入された高速バスの新型車にも、数多くの創意工夫が活かされている。これもまた、CS向上の一環だ。社長の小池氏はもちろん、開発に携わった経営統括部企画課長 金森隆浩氏もまた、車両のシートには特別な思い入れがある。

「長い路線では10時間以上もの移動となりますが、お客様がその間に接している部分といえば、シートしかありません。私自身もよく高速バスを利用していたので、安心して快適に乗れるかどうかは、他社との差別化に繋がると考えました。特に今回の新しい試みは、座席の枕を可動式にしたことです。背中をもたれた時に、どこに枕があるのが好ましいかは個人で調整できます。また、足元の広がりを確保して靴が収まるようにし、シートも落ち着きある色合いにしています」（金森氏）

そのほか、メイクや着替えができるゆったりとした広さのパウダールームも備え、女性のお客様からは特に高い評価を獲得している。

## 尽きることのない顧客の安全対策とCS向上

今後の高齢化社会に向けての対策も重要だと、小池氏は語る。

「ご高齢のお客様がマイカー運転できなくなれば、移動手段としてバスが注目されます。しかし現状では、バスの乗り方をご存じない方が多いということも分かりました。当たり前だろうと思うことも、それは供給者の論理であり、反省すべき点です。そこで原点に立ち返り、各市町村へ赴いて、バスの乗り方教室を開催しています」

名古屋鉄道の自動車事業から分社化して10周年。その記念事業の一環として、増加するご高齢のお客様のためのバス待ち環境の快適化にも乗り出す。これについては、常務取締役 伊藤正雄氏が語ってくれた。

「バス待ち環境の整備として、上屋やベンチを増設していきます。また、バス停をより分かりやすくするために、標識のモデルチェンジを行う予定です」（伊藤氏）

制服も一新。まさに名鉄バスは新たなる進化を遂げようとしている。しかし、安全やCS向上を追求する姿勢は変わらないと小池氏。

「安全やCSには、ゴールがありません。ヒューマンエラーは、ゼロにすることは難しい。けれども、ヒューマンエラーをシステムで低減することはできます。今後もハード・ソフトの両面で、新たなるシステムを貪欲に採り入れていこうと思います」（小池氏）

## ふそうとのエピソード episode

### ふそう車両は使い勝手が良いと、現場からも好評です。

三菱ふそうさんとはとても長いお付き合いをさせていただき、現在もほとんどの車両が三菱ふそうの車両です。現場からの評価も高く、「馬力が良い」、「操作性や使い勝手が良い」などの評判を聞きます。

これまでにも弊社の統一仕様として、運転席のレイアウトや、左右に分かれていた燃料タンクと尿素水のタンクを片側に揃えるなど、現場の声を拾い上げて様々なオーダーをお願いしてきましたが、いつも柔軟に対応していただいています。

また万が一事故などがあった時には、迅速に対応していただいているし、全国にネットワークがあるので、たとえば名古屋地区以外でトラブルがあっても、きちんと対応していただけるのは助かっています。

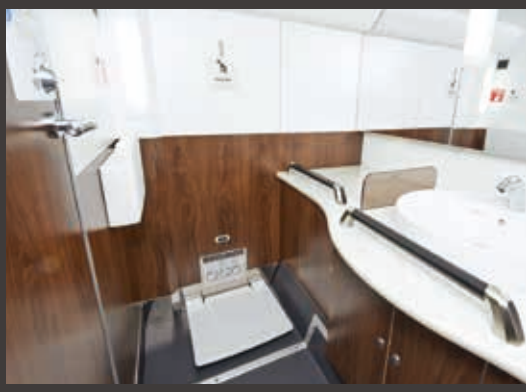
今後も安全面や燃費など、ますます追求していただけることを大いに期待しております。

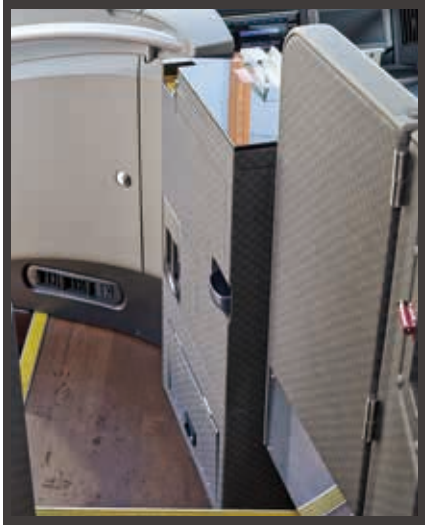
（小池　潤氏）

常務取締役
伊藤 正雄 氏
「10周年を機に、様々なリニューアルを行い、さらなるCS向上を目指します」

年3回発行されている社内報。社長からのメッセージや、お客様からのお褒めの言葉、表彰された乗務員などが紹介されている。

メイクや着替えもできるよう、広々と設計されたパウダールーム。





乗降時にゆとりをもたせるために極限までスリム化した、名鉄バスオリジナルの運賃箱。

経営統括部企画課長
金森 隆浩 氏
「サービス業という視点に立って、今後もお客様の快適を追求した車両を検討していきたい」

乗車中でも携帯電話の充電ができるよう、全席にコンセントを完備。

今では一般的になりつつあるイオン発生機は、名鉄バスが業界で先駆けて導入している。

OWNERS VOICE
三菱ふそうユーザー様の声はWeb「OWNERSVOICE」でもご覧いただけます。☛http://fusoeco.com/voice/

私たちの
サポート宣言

神奈川三菱ふそう
港北支店

# 最新鋭の設備を整えた新天地で、さらなるCS向上を目指します。

## 最新鋭の整備ラインを備えた新設の支店

川崎市中原区で皆様にご愛顧をいただいておりました「川崎支店」が、昨年10月に横浜市都筑区へと移転。新たに「港北支店」としてスタートしました。川崎市の内陸部および、横浜市の北部が担当エリアとなります。

整備工場は最新鋭の設備を整えた全天候型で、計14ストールからなる整備ラインを確保。太陽光発電を導入して$CO_2$削減に取り組むなど、環境面にも配慮しています。

横浜市北部エリアはこれまで、神奈川ふそうのどちらの工場からも遠い地域にありましたので、このたびの移転は近隣のお客様に喜んでいただいております。

## 社員が一丸となって、CS向上を追求

新しい支店としてご愛顧をいただくためには、何よりもCS向上が大切だと捉えました。そこで複数名のCSリーダーを決めて、毎週水曜日の朝礼時に成功例を発表し合い、足りない部分については皆で検討し合うなど、さらなるCS向上に向けて努力しています。

また、もっと多くのお客様に港北支店を知っていただくため、営業スタッフを増員するなど、営業活動にも力を入れています。

### 部品営業

お客様との
触れ合いを
大切にしています

部品課　幸正和

運送会社や整備工場等に部品の販売や配達を行っています。趣味の運動を通じた様々な年代の方との触れ合いを、現場でのお客様とのコミュニケーションに活かしています。私自身はまだ未熟かもしれませんが、部品課にはとても心強い先輩がおりますので、皆様にはご安心いただけることと思います。

### 営　業

お客様の要望に
迅速・的確に応えます

販売課　岡本崇史

新車の販売や車検、部品、保険、中古車販売の5業を担当しています。現在、支店全体でCS向上に取り組んでおりますが、特に私個人としては、お客様の目線でニーズを把握し、即時に実行できるよう努力しています。
また、いざという時にご迷惑をかけないよう、日頃から筋トレをして体調管理にも気を配っています。

### フロント

窓口として
親切・丁寧に
接していきたい

整備課　角田太朗

整備フロントは、来訪されるお客様の窓口です。お客様と接する機会も多くなるので、不快感を与えないよう、日頃から身だしなみや机周辺の整理整頓、言葉遣いには気を配っています。また、新しい支店として注目されていると思うので、スタッフ一丸となって皆様の期待に応えられるよう、努めて参ります。

**神奈川三菱ふそう　港北支店**

横浜市都筑区東方町1番地1

**☎045-473-3200**

（8:50～17:20）

【神奈川三菱ふそう】　横浜市鶴見区安善町2-1-7
☎045-414-2511（8:50～17:20）

東野 正彦氏の

# よく効く！経営改善講座

## 儲かる経営体質への改善 ①

トラック運送事業における厳しい競争環境の中で、どのような経営の舵取りを行っていけば生き残ることができるのか――多くの経営者が悩み、もがき苦しみながら日々奮闘されていることと思います。

今号からスタートする『よく効く経営改善講座』では、「儲かる経営体質への改善」をテーマに、そのために必要な取り組みをさまざまな観点から具体的にアドバイスをさせていただきたいと考えています。

### 持続的に発展する事業者となるために

多くの運送事業者は、当面の利益の獲得ため必死の努力をしています。とくに中小のトラック事業者は将来へのビジョンがなかなか描けず、苦しい立場にあります。荷主や元請け事業者の制約が大きく、言うがままに動くしかない、という経営者もいらっしゃいます。

しかし、現実にはそれらの制約条件を乗り越えるために創意工夫を続け、荷主から信頼され、選ばれる存在となっている事業者も少なくありません。そうした立ちはだかるさまざまな課題を乗り越え、利益を蓄積し、次の成長・持続的発展の可能性を得る事業者となるためにはどうしたらいいのか――。本講座では、それを皆様とともに探っていきたいと思います。

第1回は、その手始めとして、利益を生み出す経営体質転換の基本について考えてみましょう。

# 経営を「トータル」な視点で見直す

## ～利益を生みだす経営体質転換の基本～

### 1 まずは、経営者が「志」を掲げましょう

厳しい環境だからこそ、まずは経営者が**「何の目的で経営しているか」**が拠り所になります。一度見直してみてください。

**「生きるために」**という考えも間違いではありませんが、この考え方の問題は、利潤追求が第一になりがちで、自分の利益になること以外、喜んで進んで働くことができない傾向になることです。やはり、社会的責任の大きい運送事業者として、世のため、人のためという企業観が必要です。これがあってこそ、経営者はもとより、全従業員の働くモラルを無限に引き出す可能性があるのではないでしょうか。

高い志を拠り所として、まずは厳しい環境を乗り越える気概を持ち、いかにしたら制約条件を乗り越えられるか、と考え始めることが、生き残るためのスタートだといえるでしょう。

### 2 経営改善の基本を習得し、「トータル」な視点で愚直に実践する

利益を生みだす道は１日にして成りません。**「短期」**だけでなく**「長期」**的視点が必要です。例えば、車両にかかるコストは**「ライフサイクルコスト」**でその採算を考える必要があります。さまざまなコストを長期的視野でトータルにとらえ、利益の最大化を追求する姿勢が重要になります。

また、**「個」**だけではなく**「全体」**を見据えることも必要です。例えば、事故の再発防止はドライバー**「個人」**だけの問題ではなく、日常の管理や教育体系、企業の持つ風土といった会社「全体」にまで遡り原因を追求しないと、撲滅には至りません。

そのように考えると、運送事業者の改善においては**「これをやれば良くなる」**ような特効薬はあまりないといえるでしょう。しかし、突き詰めていくと、取り組むべきことは、**「人の活かし方」**、**「物・金の活かし方」**の知識と技術を徹底的に磨き続けることです。そして、**「経営者の志」**をその裏付けとすることです。企業における**「人」**や**「物・金」**への考え方は、経営者の**「何のために経営するか」**という考えで決まってくるからです。

東野正彦氏●PROFILE●　（株）創造経営センター取締役、コンサルティング事業部長。全国各地のトラック運送業の経営診断・指導に携わり、トラック協会のセミナーなどの講師も務める。「トラック環境経営」「トラック経営革新」など著書多数。

## 3

**決めたこと（基本）に愚直に取り組む事業者だけが次のステージに進むことができる**

選ばれ、生き残るための取り組みは、地味で愚直な取り組みが求められることが多いでしょう。しかし、この継続する力こそ、利害関係者からの「**信頼**」の源泉となります。

それでは、中小の運送事業者が利益を生む経営体質に転換するために、備えるべき経営基盤とはどのようなものでしょうか？　各社の立地条件、荷主の物流特性、現在の業務形態、企業規模、得手不得手、経営資源（人的制約）はさまざまであるため、答も１つではありません。しかし、経営改善にはコツがあります。このコツをまずは1つからでも自社に適用し、実施してみることが重要です。

次号以降では、経営を「トータル」な視点で見直すため、以下のような経営基盤を確立していくためのポイントを解説してまいります。

**■企業成長のステップ**

第一段階　選ばれる企業
　　生き残る企業

↓

第二段階　成長する企業
　　持続的発展をする企業

※第一段階を経由しなければ、　第二段階には至らない

まずは生き残りの基盤を持つ。この基盤の上に成長が積みあがる。
基本がしっかりした企業が、繰り返し繰り返し基本を徹底することがなければ、成長の種もモノにならず、進めても維持できません。

**■経営基盤強化のポイント**

経営基盤の強化

- 人的・資本的経営基盤
  - 経営者：経営理念の確立と経営能力を向上する必要があります。
  - 従業員：生産性を高め、質のよい輸送サービスを提供するため、教育と組織化の必要性があります。
  - 資　本：過小資本と不健全な財務内容を改善する必要があります。
- 輸送品質向上と輸送需要の開発

以下の様な内容を通じた、輸送需要の開発が必要です。

- ●稼働率、実車率、積載率を高めるような荷物・荷主の組み合わせ
- ●運ぶだけではなく、関連する他の業務と組み合わせた受託範囲拡大
- ●市場（流通構造）の変化を先取りするあたらしい物流システム
- ●同業者との連携による、サービスの構築
- ●ニーズの細分化に対応した派生的なオリジナルサービス
- ●運輸に密接に関連した隣接事業分野への進出

- 経営管理
  - ●営業、運行、荷役、財務、人事、労務、情報等の経営管理水準レベルアップをする必要があります。
  - ●企業間の連携も検討する必要があります。

**経営のお悩みをお寄せください！**

『東野正彦氏のよく効く経営改善講座』では、運送事業にかかわる経営のお悩みを受け付け、本講座に反映させていきたいと考えています。
FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE事務局宛にメールまたはFAXでお寄せください。
採用された方には、三菱ふそうオリジナルキャンターダイキャストモデルをプレゼントいたします。

1/43スケール
（全長約135mm）

ご存知ですか？

# 定期点検には、こんなメリットがあります！

道路運送車両法において、自動車の保守管理責任はユーザー自身にあること（自己管理責任）が定められており、自動車ユーザーには、日常点検と定期点検が義務付けられています。
車両のスムーズ&快適な運行に不可欠なのが、定期点検です。日常の点検サイクルと併せ、定期点検のメリットを理解して、しっかりと点検・整備を行いましょう。

## 定期点検の4つのメリット

**交通事故防止**
ブレーキ、車軸などの駆動系・制動系装置は、整備不良や過度の使用で故障しやすい部位です。異常箇所があったらすぐに整備し、また確実に定期点検整備を行い、安全・安心な運行を推進しましょう。

**コスト削減**
日常点検や定期点検整備によって得られるメリットは、
■異常箇所の拡大防止　■燃費の維持・向上　■車両寿命の延長　■車両稼働率の向上
などなどです。トータルな事業コストの低減を実現します。

**信用度のアップ**
点検整備の励行によって、納期厳守、積み荷の安全確保など業務の信頼性を高めます。

**環境保全**
点検整備の充実はエコドライブと相まって、
$CO_2$、NOx、黒煙等の排出量を抑え、環境への負荷も低減します。

点検のサイクルを覚えておこう

## ■定期点検は車の健康診断です。

毎日運行するトラックは、使用過程においてゴムやオイルなど「摩耗・劣化が避けられない部品」があり、またボルトやナットが緩む可能性もあるため、定期的な点検整備が求められています。

点検項目が細やかだから、安心の質が違います。

車種・モデルにより点検方法が異なります。詳しくは各車両の取扱説明書をご確認のうえ、忘れずに点検・交換を行ってください。

| 定期点検 | 事業用 3か月 | 自家用 6か月 |
|---|---|---|
| ステアリング装置 | 4項目 | — |
| ブレーキ装置 | 10項目 | 5項目 |
| 走行装置 | 4項目 | 1項目 |
| 緩衝装置 | 3項目 | 1項目 |
| 動力伝達装置 | 8項目 | 7項目 |
| 電気装置 | 2項目 | — |
| エンジン | 6項目 | 4項目 |
| その他 | 5項目 | 1項目 |
| ＜合計＞ | 42項目 | 19項目 |

14M/Y　小型トラック キャンターの場合

車検時などにプラスしたい

より確かな安心をお届けする
三菱ふそう独自の「推奨点検メニュー」をご用意！
点検の推奨項目を増やし、より確かな安心をドライバーの皆さまにお届けします。

点検・整備についてご不明点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。

# 高品質な輸送を実現する 断熱性と気密性

Sandwich Panel Van
サンドイッチパネルバン

## パブコ温度管理車「サンドイッチパネルバン」

**このほど㈱パブコから、冷凍・冷蔵・保冷の3つのタイプの温度管理車が発売されました。ボデー外板・内板には、冷凍・保冷性能に秀でたサンドイッチパネルを採用し、断熱材も水分吸収のないポリスチレン材とすることで、幅広い業務に対応する性能となっています。**

### ボデー外板・内板

冷凍・保冷性能に優れたサンドイッチパネルは、美しい白色アルミ製。

### 断熱材

サンドイッチパネルは、いつまでもその性能を失いません。ポリスチレン材は水分を吸収しないため、経年による積載量ダウンの心配も不要です。

### リヤドア

ステンレス製フレームに取り付けされた高気密ゴム採用の「観音式ドア」は、開閉作業の容易なワンタッチ機能付（ロックバー外付）です。防犯に役立つキー付ロック（1ケ）が標準装備です。

### ■エアリブ

ボデー内壁と積荷が密着しないように、隙間をつくり冷気の循環を行います。

### ■床

ステンレス張りの床面には、水抜き用パイプが装備されています。

### ■一体型冷凍機

エバポレーターとコンデンサーの一体型を採用。庫内の突出を抑え、シャシ廻りのスペースを確保します。

### ■室内灯スイッチ

室内灯スイッチには非常ブザーを標準装備。万が一の場合にも外部に緊急事態を知らせることができます。

「断熱材の厚み（断熱厚）」と「冷凍機」の組み合わせによって、積荷や用途にマッチした、ベストな仕様が可能です。

### 冷凍バン　低温仕様（−15℃仕様）

断熱厚75mmのボデーと「低温用の冷凍機」を組み合わせることで、庫内温度−15℃まで対応します。

### 冷蔵バン　中温仕様（+5℃仕様）

断熱厚50mmのボデーと「中温用の冷凍機」を組み合わせることで、庫内温度+5℃まで対応します。

### 保冷バン

積荷の初期温度を極力保持するように荷室パネルに断熱構造（断熱厚50mm）を採用したもので、冷凍機は装備していません。庫内を冷やすには、ドライアイス等の冷却材が必要です。

■詳しくは右記にお問い合わせください。
株式会社 パブコ　〒243-0402　神奈川県海老名市柏ケ谷 456 番
営業本部　TEL：046-235-8510　FAX：046-235-8545

平成26年度 減税措置

# 税制改正による車体課税 見直し のポイントはここ!

いよいよ4月から消費税が8%に引き上げられます。
平成26年度の新税制のもと、車体課税についても
新たな減税措置が適用されます。その見直しのポイントをご紹介いたします。

## 自動車重量税

平成26年4月（消費税8%）からエコカー減税が拡充されます。
平成27年度税制改正においてエコカー減税の基準を見直すとともに、
エコカー減税制度の基本構造が恒久化される方針です。

### Ⅰ エコカー減税の拡充（H26.4～H27.3） 車両総重量2.5トン以下のトラック・バスの例

| 対象車 | 新規検査（購入時） | 継続検査（初回車検） |
|---|---|---|
| 電気自動車 等 | 免 税 | ▲50% |
| H27年度燃費基準+20%達成 | | |
| H27年度燃費基準+10%達成 | ▲75% | |
| H27年度燃費基準達成 | ▲50% | |

| 継続検査（初回車検） |
|---|
| 免 税 |

### Ⅱ 道路特定財源への位置づけについて

「自動車重量税については、道路等の維持管理・更新や防災・減災等の推進に多額の財源が必要となる中で、その原因者負担・受益者負担としての性格を踏まえる」旨、明記されました。

## 自動車取得税

平成26年4月から営業用トラックは3%から2%に引き下げられるとともに、
エコカー減税の軽減率が拡充されます。

### Ⅰ 税率の引き下げ（H26年4月～）

| 車種区分 | 税 率 |
|---|---|
| 自家用自動車（軽自動車を除く） | 5% |
| 営業用自動車・軽自動車 | 3% |

| 税 率 |
|---|
| 3% |
| 2% |

※H22年度燃費基準を満たす自動車等に限る

**消費税10%時点で自動車取得税の廃止**

### Ⅱ エコカー減税の拡充（H26.4～H27.3） トラック関連

| 対象車 | 内 容 |
|---|---|
| 電気自動車 等<br>H27年度燃費基準+10%達成 ※1 | 非課税 |
| H27年度燃費基準+5%達成 ※2 | ▲75%<br>（税率0.75%） |
| H27年度燃費基準達成 ※3 | ▲50%<br>（税率1.5%） |

| 内 容 |
|---|
| 非課税 |
| ▲80%<br>（税率0.4%） |
| ▲60%<br>（税率0.8%） |

※1：電気自動車等または、3.5トン超ディーゼルにおけるH21年排ガス規制NOx・PM10%以上低減かつH27年燃費基準+10%達成。
※2：3.5トン超ディーゼルにおけるH21年排ガス規制NOx・PM10%以上低減かつH27年燃費基準+5%達成、または、H21年年排ガス規制適合かつH27年燃費基準+10%達成。
※3：3.5トン超ディーゼルにおけるH21年排ガス規制NOx・PM10%以上低減かつH27年燃費基準達成、または、H21年年排ガス規制適合かつH27年燃費基準+5%達成。

## 【三菱ふそうの充実したエコカー減税対象車】

エコカー減税は制度が厳密化され、減税対象から外れる車両もある中で、
三菱ふそうの燃費基準達成車は全車減税対象です!

CANTER

■重量税 50%軽減 ■取得税 60%軽減

CANTER ECO HYBRID

■重量税 免税 ■取得税 非課税

CANTER GUTS

■重量税 50%軽減 ■取得税 60%軽減
※除く4WD

FIGHTER

■重量税 50%軽減 ■取得税 60%軽減

見直しのポイント!

自動車取得税の税率引き下げ
3%→2%

自動車取得税・自動車重量税のエコカー減税の拡充

自動車税のグリーン化特例の延長・拡充

# 自動車税

25年度末で期限切れとなった「グリーン化特例」について、対象車種にクリーンディーゼル車を追加するなど基準の切り替えと重点化、拡充を行ったうえで2年延長されます。
また、経年車重課については営業用トラックは現行のまま据え置かれました。

## Ⅰ グリーン化特例の延長・拡充（H26.4～H28.3）

| 対象車 | 内　容 |
|---|---|
| 電気自動車 等 | 概ね▲50% |
| H27年度燃費基準+20%達成 | |
| H27年度燃費基準+10%達成 | |
| H27年度燃費基準達成 | 概ね▲25% |

→

| 対象車 | 内　容 |
|---|---|
| 電気自動車 等 | 概ね▲75% |
| H27年度燃費基準+20%達成（H32年度燃焼基準達成） | |
| H27年度燃費基準+20%達成（H32年度燃焼基準未達成） | 概ね▲50% |
| H27年度燃費基準+10%達成 | |
| H27年度燃費基準達成 | 廃 止 |

## Ⅱ 営業用トラックに対する税制上の配慮

1 総務省が提言した「営自格差の見直し」による営業用トラックへの新たな増税案については見送りとなりました。

2 新規新車登録から11年経過したディーゼル車などに対する重課について、乗用車への重課割合は引き上げられましたが、トラックは現行（概ね10%）のまま据え置かれました。

## 石油石炭税に係わる「地球温暖化対策のための課税特例」について還付措置の適用

### エコタイヤやEMS、環境対応車両は補助対象

全日本トラック協会などが要望していた営業用トラックへの還付措置は認められませんでしたが、平成26年度経済産業省・環境省予算、合計60.7億円が措置されることになりました。

■ **経済産業省～31億円（エコタイヤ15.9億円、EMS等15.1億円）**

- 補助対象は、EMS（エコドライブ管理システム）等の車載器・運転データ分析ソフト導入経費、エコドライブ指導に係わるコンサルタント委託費、エコタイヤ導入経費など。
- 補助率は1/2。
- EMS・エコタイヤ等の燃費改善効果を実証し、総合的な評価制度を構築する。

■ **環境省～29.7億円（環境対応車）**

- 補助対象は、環境対応車（「H27年度燃費基準達成車」かつ「ポスト新長期規制適合かつNOx・PM+10%以上低減車」または、H27年度燃費基準+5%以上達成車）かつ「ポスト新長期規制適合車」）。
- 補助額は大型車100万円、中型車70万円、小型車40万円。

※自動車重量税の軽減措置は平成27年4月30日までを期間として、新車の場合は登録時の初回車検分、自動車取得税の軽減措置は平成27年3月31日までに新車を購入（登録）した場合が対象。

SUPER GREAT

■重量税 50%軽減　■取得税 60%軽減

ROSA

■重量税 75%軽減　■取得税 80%軽減

AERO STAR
AERO MIDI

（写真はエアロスター）

■重量税 50%軽減　■取得税 60%軽減

AERO QUEEN
AERO ACE

（写真はエアロクィーン）

■重量税 免税　■取得税 非課税

※車種によって減税率は異なります。詳細については、お近くの販売店までお問い合わせください。

FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 2014 4月号[No.024]
2014年4月1日発行(毎月1回1日)
発行 三菱ふそうトラック・バス株式会社 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2
企画・編集 FUSO TRUCK & BUS MAGAZINE 事務局 〒211-0023 神奈川県川崎市中原区大倉町10 TEL.044-331-5579
制作・印刷 株式会社リョーイン

平成25年度
省エネ大賞
(製品・ビジネスモデル部門)
(省エネ事例部門)
主管:一般財団法人省エネルギーセンター

# 三菱ふそう 省エネ大賞W受賞

「製品」と「生産する過程」のWで認められました。

## 1 CANTER ECO HYBRID 小型ハイブリッドトラックの最高峰!

「キャンター　エコ　ハイブリッド」は、国内小型トラックでクラスNo.1※の省燃費を実現。その卓越した環境・省燃費性能で「省エネ大賞　製造・ビジネスモデル部門」を受賞しました。理想の環境性能、省燃費を具現化した唯一無二の小型トラック、キャンター エコ ハイブリッド。卓越したエコロジー&エコノミー性能で、人・街・未来のために。これからも走り続けます。

低排出ガス車 低公害車 低燃費車 平成27年度重量車燃費基準+10%達成 H21 超低公害車 超低公害/低燃費

低排出ガス車認定車
(NOx & PM10%低減)

平成27年度重量車燃費基準
+10%達成

九都県市指定
低公害車

※ 国内小型トラックにおいて。(2012年8月現在)

## 2 環境にやさしいクルマを、環境にやさしくつくる。

環境にやさしいクルマでも、つくる過程で$CO_2$や排気ガスを大量に出してしまっては意味がない。そこで三菱ふそうは、車両を製造し運搬するその過程から、環境負荷の少ない取組みを行っています。その功績が認められ、「省エネ大賞　省エネ事例部門」を受賞。「製造・ビジネスモデル部門」とのW受賞を励みに、三菱ふそうはますます、省エネルギーの促進を加速させていきます。

その他にも
さまざまな賞を受賞!

2013 RJC
カーオブザイヤー
特別賞受賞 商用中型
「DUONIC」×「HYBRID」

Car of the Year Special Award to the first commercial vehicle
Sponsor: Automotive Researchers' & Journalists' Conference of Japan (non-profit organization)

| | |
|---|---|
| 国内 | 2013年次RJCカーオブザイヤー特別賞<br>第3回かながわ地球温暖化対策大賞 |
| 海外 | Irish Green Commercial of the Year 2013<br>Best Energy Efficient Product Award<br>European Transport Sustainability Prize 2014 |

トラック・バスのお問い合わせは、三菱ふそう販売店へ

facebook 三菱ふそう / FUSO Japan

YouTube 三菱ふそう 公式チャンネル
http://www.youtube.com/user/Fusoofficial

三菱ふそうトラック・バス株式会社
www.mitsubishi-fuso.com